

発行 宮城県こもれびの森 森林科学館
〒987-2512 宮城県栗原市花山草木沢角間 10-7

TEL&FAX 0228-56-2330
http://mifi.main.jp/komorebi.htm



イベント報告-ウッドランドクラブ10月-

～「きのご観察ときのご鍋」～

10月21日(日)、こもれびの森にて「きのご観察」をしました。「きのごこ」に興味がある子供たちの参加も多く見受けられました。科学館に戻っての観察会では、熱心に質問をする参加者の姿がありました。

当日は、宮城県自然保護課による「生物多様性」のお話もあり、動植物に関しての知識を深めることができました。



＜「キノコ観察会」＞

-リニューアル工事始まる-

昨年の館内のリニューアルに続き、今年度は科学館の屋根、外壁などの修繕を行います。工事は10月末から始まりました。開館から25年を経過しており、外回りの大規模修繕工事となっています。内部についても、照明をLEDに変えて省エネと明るい館内を目指します。「こもれびの森」を楽しんでいただけるような施設となることを願っております。来年度、4月の開館時には、是非、ご来館下さい。



＜足場が組まれた「科学館」＞

こもれびの森の かわいいことりたち

こもれびの森サポーターで
専属ことりカメラマン(?)
の大豆さんのコーナーです

～ことりたちの冬～

“夏鳥と冬鳥”が同時に見られる季節です。①夏鳥のノビタキです。もうすぐ旅立ちです。②冬鳥のカシラダカです。③同じくシヨウビタキのメスです。④シジュウカラが冬に備えて折れた木のギザギザに種を差し込んでいます。朝夕だいぶ冷えもむ季節です。(大豆)



①ノビタキ



②カシラダカ



③シヨウビタキ



④シジュウカラ

生き物いろいろ

～身近にいるクマ～

～冬を前に～

クマの好物の一つにアオハダの実がある。こもれびの森のアオハダの大木には、毎年クマ棚が作られるが、今年はなぜかどの木も実をつけていない。そのため代用品となったのがコシアブラの仲間であるタカノツメである。

今年はタカノツメが豊富なか新しいクマの爪痕とクマ棚を作った木が何本も見かける。タカノツメの実は旨味を感じないが、餌が少ない年はクマにとっては選り好みが出来ないのであろう。

観察路には枝や葉、実が大量に散らばっている。その様からは冬眠に備えるクマの必死さが見えた。(は)



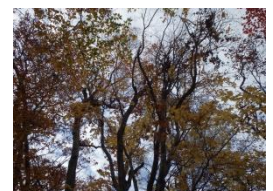
山のことなら
何でもプロ級、
サポーターの
②さんの
コーナーです



①タカノツメの実



②無数の爪痕



③クマ棚4ヶ所

まめちしきコーナー “花や木などのチョットした知識”

「縁起物・・・」～キチジョウソウ(キジカクシ科)～

無病息災や招福祈願の時、慶事などの際に縁起物にこだわります。縁起物の起源は、仏教や中国の習俗、また日本古来の習俗に由来するものが多いようです。縁起物ですぐ思いつくのは「ナンテン」ですが、「難を転ずる」の語呂合わせからか、江戸時代から縁起物の代表となっていたようです。当時は特に「火事除け」ということで、必ずといっていいほど軒先に植えてあったそうです。また、赤い実は「厄除け」の力があるとされ、ナンテンの葉は祝い事やお赤飯に用いられました。さらに「フクジュソウ」とセットにすると、「難を転じて福となす」ということで、ますます縁起がいいということになります。

さて「キチジョウソウ」ですが、「吉祥」は仏教で幸福、幸先の良いことを意味し、吉祥天は繁栄や美を授ける女神です。これ以上の縁起物はないような大変立派な名がついています。ご利益は、花が咲くと吉事が訪れるとか、吉事があると花が咲くとか、諸説あるようです。

ちなみに我が家の庭では、毎年、秋の終わり頃に花が咲きますが、チットモ吉事が訪れないのは、多分、普段の心がけが原因なのでしょう・・・(千葉)



＜キチジョウソウ＞

もうすぐ冬季休館へ

科学館情報

12月1日より冬期休館となります。今年度は館内を全面リニューアルした最初の年でしたが、おおむね好評のようです。花山地区の多くの皆様方にも足を運んでいただきありがとうございました。また、地域の方々のご協力もあり、大過なく業務を遂行することができました。今後も地域と連携した運営を目指してまいりますので、来年度もよろしく願いいたします。
森林科学館 所長 千葉